

明けましておめでとうございます

令和2年1月1日



第139回 解脱金剛御生誕祭

真心から尊者の御生誕を祝う



御生誕を祝うお花や飴細工が捧げられた頌徳碑前にて慶賛文を奏上する岡野理事長



式典前に献灯台へ火を灯す会員



岡野家の御法要で新しく設けられた焼香台で祈りを捧げる会員



岡野理事長より表彰を受ける仲佐浩美さん

落ち葉に彩られたお山で、金剛さまの誕生日である11月28日、令和元年の六大行事の最後となる第139回解脱金剛御生誕祭が開催され、全国から多数の会員が集った。

祭典に先立ち、岡野御本家にて、岡野御本家先祖代々之御法要が、根岸洋明多聞寺住職の導師により営まれた。御法要後は、木村正則常任理事が代表して挨拶し、岡野茂樹埼玉北本宿支部長が謝辞を述べた。屋内では回し香炉にて焼香が続く中、屋外に新たに設けられた香炉台で、参加者たちが真心からの焼香を行った。

御生誕祭は、お山にて午前11時に開式。金剛さまのみ声拝聴、御生誕祭の歌斉唱の後、岡野英夫理事長が恭しく慶賛文を奏上した。

続いて献華之儀では岡野理事長はじめ、本部役員や来賓各位が頌徳碑と五輪宝塔へそれぞれ菊花を捧げた。勤行の後、式辞において岡野理事長は、「神、先祖、



お山内で青年部が「まごころ募金」の呼びかけ

金剛さまから授かる偉大な霊力を具現化し、在家宗教の威力を発揮して、どんな局面をも切り拓く精神力を養っていく必要がある。最も大切なことは私たちの心や思いがこの新しき令和の御代を創り上げていくこと、決して悲観的な言動をせず、たえず前向きに明るく元気に過ごすことを心がけ、周りの人々の心を慰め、共に喜び、助け合う行動をしていきましょう」と述べた。続いて、三宮幸雄北本市長より祝辞を頂いた。

その後、子供育成の一環として毎年恒

例となっている、教区選抜実践作文コンクール表彰が行われた。今年のテーマは、アニメ「金剛さま一立教からの歩み」の感想。たくさんの応募作品の中から、最優秀賞を受賞した仲佐浩美さん（江戸川北支部）に岡野理事長より表彰状が授与された後、本人による作文の朗読が行われ、会場から温かい拍手が贈られた。

式典終了後の第2部直会では、青年部、女性部らの御神酒や甘酒の接待、五色うどんの販売があり、お山の随所に笑顔で歓談する会員の姿が見られた。

第80回 宍粟萬霊魂祭塔建立記念祭

教区一丸となり真心を結集して祝う



が進められた。そして午後3時30分より奉告祭が行われ、本部より出講の岡野英夫理事長が列席した。

式典当日は、前日とは打って変わって、雲一つない晴天の中、記念式典が執り行われた。まず司会者より塔建立の由緒が述べられ、参加者は金剛さまの御心に思いを馳せた。

11月23日、解脱会本部主催、兵庫教区主管による第80回宍粟萬霊魂祭塔建立記念祭が執り行われた。節目の祝いに地元兵庫教区をはじめ関西圏域、さらに中国、四国、中部各教区会員と地元住民の方々を含め総勢約750名が参加した。

宍粟の地に教えの種が蒔かれ、根づいたのは地元出身者であった、故・池内マサ氏と夫であった肅夫氏の尽力によるもの。マサ氏は金剛さまより「郷里を導け」との指導を受け宍粟に教えを広めた。さらに夫妻は金剛さまから萬霊魂祭塔建立に伴う一切を任せられ、昭和15年に建立がなり、以来毎年秋には式典が盛大に行われてきた。

式典前日の22日、天候が心配される中、兵庫教区の役員を中心に記念式典の準備

次に、萬霊魂祭塔前之儀が執行され、岡野理事長はじめ来賓各位が花束を、女性部役員が天茶を、それぞれ万霊に対し捧げた。続いて笹倉範久教区長からは今日を迎えられた喜びと参列者への御礼を述べると共に、「本日の記念式典に向けて教区一丸となって取り組んできました。これからもこの塔を中心として教区の活動を進めていきたい」と熱意が込められた式辞があった。田中敏雄中安積自治会長の祝辞に続き、岡野理事長より「金剛さまが建立されたこの塔は、金剛さまの信念で、塔に額づく者の幸せが祈念されている。こうして参拝になられた方々は、この塔が持つ大きな霊力を頂いて、日々の生活の中でご活躍され、多くの方々と共に幸せな人生を歩んでいきましょう」



との記念講話があり、最後に橋本正親実行委員長が謝辞を述べた。

第2部直会は、柴田正美教区担当の乾杯で始まった。地元会員による温かいうどん、焼きそば、フランクフルトなど8カ所の出店があり、参加者に無料で振舞われる中、ステージでは宍粟三世代よさこい会、兵庫教区の姫路、明石地区女性部によるダンスが披露され、会場を大いに盛り上げた。続いて、地元特産品が当たるお楽しみ抽選会の後、毎年恒例の餅まきが行われた＝写真右上。餅まきの餅は式典の前日、150キロの餅米を使い、宍粟地区の女性部の手により、一個ずつ手作業で形を整えられ、約2200個の紅白の丸餅が作られた。

また会場内には、青年部が中心となり、わた飴やポップコーン、簡単なゲームや風船などのキッズランドが設けられ、子供たちを大いに楽しませた。

地元教区会員をはじめ、地域を越え、世代を超えて、80回を数えた節目の祭典を一同大いに祝い楽しんだ。

津之守弁財天冬祭

日々の感謝を捧げる



冬晴れの12月1日正午、報恩日行事に先立ち、本部道場を含む荒木町一帯を守護されている津之守弁財天社の冬祭りが厳かに行われた。

首都圏の会員や本部職員、地元住民が集う中、西村晴雄常任理事が祝詞奏上、稲子知義津之守弁財天崇敬会会長はじめ荒木町町会関係者らが玉串を奉奠し、日々の御加護に心から感謝の祈りが捧げられた。報恩日行事後は道場玄関に紅白幕が張られる中、直会が行われた。

黒姫出張所・天茶収穫祭

収穫に感謝



11月20日、長野県信濃町の黒姫出張所にて第51回天茶収穫感謝祭が執り行われ、本会より岡野英夫理事長はじめ本部職員、地元来賓、天茶耕作者組合員らが参列した。

黒姫弁財天大神・天國蔵五柱五成大神に参拝の後、正午より黒姫支部道場にて式典が行われ、岡野理事長は天候不順が続く中、天茶が無事に収穫できたことの喜びと感謝の挨拶を述べた。式典後は、直会となり、一同心より収穫を祝した。

解脱杯小学生女子ソフトボール大会

健全育成を目指して



11月16、17日、第24回解脱杯小学生女子ソフトボール大会が北本スポーツセンターにて行われ、埼玉県内より集った11チームが優勝目指して競い合った。

本会主催のこの大会は競技を通して、女子小学生の健全育成と近隣地域相互の親睦を図ることを目的に毎年秋に開催されている。16日午前8時30分より開会式が行われた後、試合開始。二日間の激戦の結果、行田市の「行田少女ソフトボールクラブ」が優勝杯を手にした。

名古屋第2教区・こども大会

ゴミ環境について学ぶ



名古屋第2教区は10月20日、「地球に思いやり、身の回りの環境について学んで、実行」をテーマに

こども大会が行われ、30名が参加した。

当日は午前10時に、名古屋市環境学習センターに集合、ゴミの環境の現状と課題について映像やクイズ形式で楽しみながら学んだ。その後、実践行としてリサイクルのペットボトルを利用したペンダント制作、施設近くの公園で青年部主導による清掃奉仕を行った。昼食の後、再び施設内を自由見学し、終了となった。

親子孫が一緒になって学び実践し、充実したこども会となった。

京都教区・教区大会

一年間の反省と来年に向けて



京都教区では10月27日、関西道場において「教区活動の一年間の反省と来年に向けて」を目的に教区大会を開催し、本部より早川廣美指導員が出講、72名の参加があった。

第1部で早川指導員の講話で令和2年に向けて志気を高めた会員たちは、第2部の昼食では、尺八や三味線、長唄の演奏や大抽選会で大いに楽しんで英気を養い、より密に教区としてのまとまりをみせた。最後に、田中英次教区長の閉会挨拶を受けて、立教100年に向け、解脱金剛宝塔のお膝元としてさらに精進努力していくことを誓い合った。

名古屋第1教区・健康指導研修

大切な人の命を守るために



名古屋第1教区では10月27日、中部道場にて健康指導研修を開催し、支部健康指導担当員27名が参加した。今回は「研修で習得した内容を、支部や家庭、地域で実践し、日々の生活の中に活かすこと。あなたの大切な人の命を守るために。もしもの時に覚えておきたいこと。もしもにならないために大切なこと」を目的に、「名古屋市応急手当委員」の資格を持つ柴山晴美健康指導委員より、AED（自動体外式除細動器）の使用方法や心臓マッサージなどの応急手当法と足心道について学び、緊急時に救命処置がとれるよう研鑽を積んだ。

研修で習得した内容を、支部や家庭、地域で実践し、日々の生活の中に活かすこと。あなたの大切な人の命を守るために。もしもの時に覚えておきたいこと。もしもにならないために大切なこと」を目的に、「名古屋市応急手当委員」の資格を持つ柴山晴美健康指導委員より、AED（自動体外式除細動器）の使用方法や心臓マッサージなどの応急手当法と足心道について学び、緊急時に救命処置がとれるよう研鑽を積んだ。

大阪教区・修法研修会

「聞き上手になる」をテーマに



大阪教区では10月27日、大阪布教連絡所にて「各支部の仲介者の養成と基本の再確認」を目的に修法研修会を開催し、福澤文雄指導員が本部出講、14名の参加があった。

今回のテーマは、「聞き上手になる」。午前は講話を中心に学び、その中では、二人一組となり、90秒間、話し続ける役と聞くことに徹する役を交互に行うなど、相手の言葉を充分に受け取めることを学んだ。午後は修業者のどんな小さな動きにも注視し、事後の勉強ではその意味を学ぶなど、支部で仲介者としての役目に活かすべく研鑽に励んだ。

岐阜関ヶ原支部・秋季怨親平等大供養

「皆さんが主催者」を合言葉に



「天下分け目の戦」のあった古戦場を地元を持つ岐阜関ヶ原支部で10月27日、秋季怨親平等大供養祭が行われた。同支部では、「皆さんが主催者」を合言葉に日頃から布教やお

誘い活動を展開、努力が実り、当日は多数の地元住民も参集、会員と共に真心を捧げた。まず司会者が「供養祭の目的は、国家国民の平和と繁栄の祈り」と目的を確認した後、祭典は厳粛な中にも地元の子供たちや女性らが献供の儀に参列するなど、会員と地元住民が協力する形で行われた。供養後の直会では、参加者が一つになり供養祭を行えることができた喜びを分かち合った。

ハワイ解脱教会

バザー開催にぎやかに



ハワイ解脱教会では11月3日午前9時からバザーを開催。このバザーは会員同士の交流と地域への布教活動の一環として行われ、奉仕の参加や会員の家族、友人らが多数集った。事前に準備したお寿司やカボチャ餅、またビーフンやアンダギー（ドーナツ）がその場で調理、販売された。特にアンダギーは好評を博し完売。また、服や植木、宝石、日用品などを売る「掘り出し市」でも大きな収益がある中、午後3時大盛況のうちに終了した。

事前に準備したお寿司やカボチャ餅、またビーフンやアンダギー（ドーナツ）がその場で調理、販売された。特にアンダギーは好評を博し完売。また、服や植木、宝石、日用品などを売る「掘り出し市」でも大きな収益がある中、午後3時大盛況のうちに終了した。

令和元年度 全国支部長会

更なる発展を胸に

11月27日、全国支部長会が御霊地・解脱研修センターで開催された。

午後1時に開会。拝礼行事、み声拝聴の後、本年度認証支部（13支部）の紹介が行われ、新支部長がステージ上で祝福を受けた。

その後、岡野英夫理事長より「令和2年度本部指針」が示され、宮坂保徳教務局長からは「令和2年度布教活動方針」の説明があった。

布教推進祈願の後、宮坂教務局長は「三聖地巡拝の学び」をテーマに「三聖地巡拝の意義」を述べつつ、来年4月の第80回三聖地巡拝と9月に行われる青年

部三聖地巡拝錬成への参加を促した。

第2部表彰式では、支部創設50周年の金沢長田支部の表彰、退任支部長、高齢功労者、篤志奉納者の各種表彰が行われた。解脱金剛奉賛会表彰では、入会30年と40年の奉賛会員が表彰された。続いて登壇した服部宇之輔奉賛会幹事長は、御礼と共に更なる協力を仰いだ。

会場をお山に移し、五輪宝塔前で行われた第3部・支部活動目標奉告の儀並びに献灯式では、献灯台に参加者が順々に火を灯し、その美しい景色を撮影する会員の姿が多く見られた。

続いて、第4部の懇親会が催された解



第1部・認証された13支部の支部長が紹介された



第3部・五輪宝塔前で岡野理事長による支部活動目標報告の儀
解脱錬心館では、岡野理事長の力強い発声で乾杯をし、支部長らは互いに1年の労をねぎらいながら親睦を深めた。

令和元年 各種表彰受賞者

創設50周年支部表彰（1支部）
北陸教区 金沢長田支部

退任支部長褒賞（9名）

- 群馬横壁支部 金子 宏
- 千葉八幡支部 田山 朝二
- 牛込支部 梶原 正代
- 多摩支部 三室 喜義
- 中野支部 稲子 知義
- 下馬支部 鈴木 盛一
- 小田原酒匂支部 廣川 昌子
- 神戸六甲支部 河内 昭子
- 香川多度津支部 藤原 了

高齢功労者表彰（12名）

- 小樽中央支部 熊谷 詔夫
- 新潟青山支部 野崎 秀克
- 長野岩村田支部 小林 一雄
- 六月支部 高鹿恵四郎
- 茅ヶ崎共恵町支部 鈴木 勲
- 静岡沼津支部 大嶽てる子
- 名古屋鳴海支部 富田 時宗
- 大阪今里支部 相良 和彦
- 神戸垂水支部 荒川 洋三
- 明石大蔵支部 武甕 豊
- 愛媛四国中央支部 重森 静子
- 堀ノ内支部 高橋 征雄

篤志奉納者表彰（32名）

- 函館杉並支部 菱田 行哲

- 群馬横壁支部 豊田銀五郎
- 埼玉桶川支部 小淵 とみ
- 埼玉北本宿支部 岡野 正
- 埼玉北本宿支部 岡野 茂樹
- 埼玉北本宿支部 岡野 貞子
- 埼玉杉戸支部 森田 心
- 更埴八幡支部 市原恵美子
- 茨城小田支部 廣川 貞雄
- 南新宿支部 阿曾沼美栄子
- あきる野支部 五十嵐康夫
- 八王子支部 森野 耕正
- 幡ヶ谷本町支部 文代
- 中野支部 関 日出夫
- 大森八幡支部 株式会社三平
- 大岡山支部 小林 亮侍

- 東京第7教区 武信征四郎
- 川崎溝ノ口支部 忍
- 小田原曾我支部 西村 武
- 京都桂支部 西村 学
- 大阪松虫支部 文林学院
- 永田 秀夫
- 神戸中央支部 村脇 恵子
- 兵庫滝野支部 福原 忍
- 広島千年支部 森近 洋治
- 香川多度津支部 藤原 紀子
- 徳島津田支部 湊 裕美
- 愛媛四国中央支部 重森 政義
- 愛媛四国中央支部 重森 静子
- 熊本大津支部 池松 節子
- 米国解脱教会 解脱錬心館後援会長 矢部 利人

令和2年度 青年幹部研修

更なる飛躍に向けて



12月7日～8日、解脱研修センターにて青年幹部研修が行われ、青年部長以上の青年幹部及びスタッフ66名が、共に学びを深めた。

1日目、開会にあたり岡野孝行青年本部長は、「青年部活動方針」をもとに「2年間の任期の1年目を振り返り、自己の認識を新たに、お互いの学びを共有し研鑽を図ること。また、来年度の取り組みや企画に関して意識を合わせ、更に成長してほしい」と参加者に呼びかけた。

その後、宮坂保徳教務局長より「支部の尊さ」をテーマに支部を通じて学びを深める事の大切さについて講話があった。

午後からは「講話から学んだこと」をテーマにグループ毎にディスカッションが行われた。その後お山に移動し、五輪宝塔前に額ずき、昨年の幹部研修で金剛さまに捧げた手紙の内容を振り返り、自分自身を見つめ直し、今後の決意を誓う時間が持たれ、休憩の後はお役目完遂祈願のお百度を踏み、続いて解脱研修センターにて終礼行事並びに参加者各家のご先祖様に感謝の天茶供養7巻を念唱した。

2日目はお山参拝後、個々のスキルアップを目的に1日目と異なるグループに分かれ、サイコロを振り、出た目のテーマに沿った話を順番に行った。さらに来年開催される青年部三聖地巡拝錬成に向け「三聖地巡拝錬成へ繋ぐ」と題して、全議長がプレゼンターとなり三聖地への熱い想いが伝えられ、それを受けてブロック別ディスカッションが行われ、巡拝錬成

お誘いへの具体的な案が練られた。その後各ブロック議長、教区部長による金剛さまへの「お誓い」の後、目標達成祈願の宝号千反を唱え、締めくくりとして武井達郎布教部長より総評があった。

最後は全員が肩を組み合い青年錬成歌を熱唱し、更なる飛躍と目標達成に向けて、士気を高めた。

価格改訂のお知らせ

事業部商品の価格改訂について、原材料費の高騰及び増税等の事情により令和2年1月1日より変更になりました。ご理解の程、よろしくお願い致します。主な商品価格（税込）は以下の通りです。

- 天茶（180g） 2,800円
- 天茶ティーバッグ（80包入） 2,500円
- 天茶エキス（70g） 3,000円
- 天茶エキスミニ（12g×3） 2,400円
- 天茶のお風呂（10個入） 1,300円
- 天茶石鹸（3個入） 600円